

授業科目 解剖学実習 I

【担当教員名】 西野幾子、山口康昭、山田まりえ	対象学年	1	対象学科	スポ
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

人体骨格標本、分離骨標本を用いて、人体の骨格系を立体的に理解する。
 人体模型標本、関節機能模型、人体骨格標本などを用いて、人体、特に筋系、関節・靭帯系を理解する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】 ※行動目標（SBO）として記述する場合はSBO番号を付記すると共に、下のSBO番号欄に該当する番号を記入して下さい。

1. 全身の個々の骨を見分け、身体のどこにどのような方向に位置しているかを説明できる。
2. 骨の全体の形・概観・大きさ・重さ・質感をよく観察する。
3. 骨の区分（体、端、縁、面など）を理解する。
4. 骨の各部分の形（突出物、くぼみ、孔など）を概説できる。
5. 隣接する骨の連結とそれに付随する靭帯を観察し、機能を理解する。
6. 上肢・下肢の筋を観察・スケッチし、それらの名称と機能を説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	解剖学実習 I の概要とオリエンテーション		実習
2	骨学 1?5 交連骨格標本、分離骨標本を用いた主たる骨の観察とスケッチ	1, 2	"
?		3, 4	"
6		5	"
7	関節学 1?3 各関節の骨標本の観察とスケッチ	5	"
?			"
9			"
10	筋学 1?5 上肢・下肢の筋の観察とスケッチ	6	"
?			"
14			"

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	入門人体解剖学	藤田恒夫	南江堂	2000年 5000円
参考書	線描 骨学実習	千葉正司	考古堂	2001年 3500円
その他の資料	プリントの配布			

【評価方法】 実習態度、スケッチブック、小テスト、 期末試験の総合評価	【履修上の留意点】 スケッチブックと色鉛筆が必要。実習はやり直しが出来ないこと、 また、不定期に小テストを実施するので、欠席をしないこと。
---	---

健康スポーツ学科
専門